



皆様に愛され、信頼される病院を目指します

邑智病院だより 52号

2024/5

発行／邑智郡公立病院組合



病院隣の健康公園に今年も綺麗な桜が咲きました。
病院の建て替えが順調に進んでおります。

院長あいさつ



院長
山口 清次

長寿と健康寿命

令和6年度（2024年度）が始まりました。邑智病院では4月に20名の新入職員を迎え、人事面では、総合診療科部長、看護部長、診療技術部長、新たに設置した医療支援センター、薬剤部の部長が発令され、そして看護部3部門の師長も替わるなど人事が一新しました。また今年10月には邑智病院本館棟がオープンし、病院の床面積は現在の2倍近くになります。新しい環境で、この地域の医療の拠点として皆様の期待に応えるよう頑張りたいと思います。

話は変わりますが、全国的に少子高齢化の問題がクローズアップされています。高齢化率（65才以上の占める割合、2022年）は、邑智郡は44%（島根県35%、全国29%）でした。従ってこの地域では、お年寄りが元気で過ごすことが重要課題です。日本人の平均寿命と健康寿命は、男性81・41才（健康寿命72・6才）、女性87・45才（75・5才）です。つまり寿命と健康寿命の差は男性で9年、女性で12年

あります。「健康寿命」とは、健康上の問題による制限がない状態で暮らす期間のことです。長生きするなら「健康寿命」をできるだけ延ばしたいと思うのが人情です。

今年（2024年）2月に小林祥泰氏（元島根大学長、元島根大学病院院長、神経内科教授）の健康寿命に関連したお話を聞く機会がありましたので紹介します。1980年代にMRIという画像診断装置が出た頃、認知症と脳MRI所見の関連について研究されたそうです。結論として、70歳以上で社会的活動（政治、経済、町内会活動など）をしている人の脳MRIの白質病変は、そうでない人に比べて小さく、認知症にもなりにくいことを突き止めたそうです。たしかに政治家などをみると80才を過ぎても元気な人が多いですね。

一方、高齢者にとって孫は生き甲斐であり、子ども達の歌声は脳を活性化する一番の薬です。元赤穂市民病院長の邊見先生の言葉ですが「老幼共生」も大切だと思います。結論として、高齢者の健康寿命を延ばすために以下のことが大切ではないかと思っています。①社会的活動に積極的に参加すること、②高齢者と若年者の世代間交流を進めること、そして③自分の健康管理（食事、人間ドック、体操、ストレッチなど）を欠かさないこと。邑智病院では定期的に健康講座／ノルディックウォーキングなども企画しています。興味のある方は気軽にご参加ください。

看護部

看護部に
12名



藤田 聖玲菜

出身地：浜田市
職種：助産師
趣味：音楽を聴きながらドライブ

皆さんに愛され信頼される助産師になれるよう、コミュニケーションを大切に、コツコツと努力し一生懸命頑張ります。



多久和 成海

出身地：出雲市
職種：看護師
趣味：ドライブ旅行

看護師4年目となります。外来で地域の皆様の健康に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



高橋 雅衣

出身地：安来市
職種：看護師
趣味：カフェめぐり
ミュージカル、ゲーム

NICUに2年、消化器外科・内科病棟で2年働いた経験を活かし、皆様の役に立てよう精一杯努力していきたいと思っています。



二井 和香

出身地：広島市
職種：看護師
趣味：旅行

今年の春から島根県民となりました。患者さんに安心感を与えるられる看護を提供したいと思います。よろしくお願いいたします。



大田 利奈

出身地：邑南町
職種：看護師
趣味：編み物
古着屋巡り

邑南町で働けることが本当にうれしく、毎日夢を見ているような気持ちです。看護師になったからには専門職としての自覚と責任を持ち、自己研鑽に努めます。よろしくお願いいたします。夢じゃないぞー!!



長谷川 愛

出身地：邑南町
職種：看護師
趣味：温泉

これから勉強して看護師として地域の皆様の役に立てよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



林 佑美子

出身地：邑南町
職種：看護師
趣味：編み物

地域の皆さんが安心して過ごすことができるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



渡 美奈子

出身地：江津市
職種：看護師
趣味：食べ歩き

少し人見知りな所がありますが、人と関わるのが大好きです。一日も早く職場になれ、患者さんやご家族のためになれるよう一生懸命努力します。



川上 翔太

出身地：大田市
職種：看護師
趣味：動画鑑賞

私は大田市出身で邑南町のことはわからないことも多くありますが、患者さんに寄り添い、不安などを取り除けるよう努力していきたいと思います。



森廣 瑞樹

出身地：邑南町
職種：看護師
趣味：ドラマ
映画鑑賞

地域の皆さまのお役に立てるよう。笑顔で一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



広戸 春菜

出身地：岩手県
盛岡市
職種：看護師
趣味：カメラ

看護師としてまだまだ経験が浅いですが、自分にできることを精一杯こなしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



日高 有子

出身地：広島市
職種：看護助手
趣味：卓球

邑南町に移住して約10年。温かく迎えてもらった皆さまに恩返しができるよう、明るく元気に頑張ります。卓球仲間募集中です。

新入職員紹介

邑智病院に
ようこそ！



薬剤部

待望の！



佐和 章弘

出身地：広島市
職種：薬剤師
役職：部長
趣味：バイク、ツーリング

薬剤部に着任しました佐和と申します。
前職は広島国際大学薬学部の教員として
20年薬剤師養成教育に携わって参りました。
今回、臨床現場に再び戻ることとなり
期待と不安で一杯ですが、鋭意努力します
のでよろしくお願いします。

言語聴覚士
2人目！



診療技術部



安田 竜紀

出身地：邑南町
職種：理学療法士
趣味：スポーツ体験、
バスケ

笑顔忘れず、1日でも早く地域の方々や患者さんの力になれるように精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



日高 玲奈

出身地：邑南町
職種：言語聴覚士
趣味：絵を書く
手話を学ぶ

言語聴覚士として地域に貢献し、また手話をはじめとする資格取得など自己研鑽に努めたいと思います。よろしくお願いします。



石橋 杏奈

出身地：美郷町
職種：事務補助
(保育士)
趣味：漫画、映画、
音楽鑑賞

初めてのことばかりですが、一生懸命頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



正木 亮太郎

出身地：出雲市
職種：理学療法士
趣味：石見神楽

今は不安でいっぱいですが、先輩方に教えていただきながら少しでも早く仕事を覚え、皆様に頼られる理学療法士になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



喜志 優子

出身地：邑南町
職種：調理員
趣味：アウトドア

このたび、広島から地元邑南町にUターンしました。よろしくお願いします。



白井 絵里

出身地：邑南町
職種：調理員
趣味：観葉植物

早く仕事に慣れ、貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

＼新たに／

医療支援センターを設置

センター長兼部長 **NEW**

附属診療所及び国保診療所の支援、後期研修医の受入等に関する調整業務を行うことを目的に新たに設置。

総合診療科

酒井 和久

Sakai Kazuhisa



4月から医療支援センター長を拝命いたしました。変わりゆく地域の状況の中で、質の保たれた医療を充分に提供できるよう支援していきます。総合診療科の仕事も続けていきますので、よろしくお願いいたします。

院長
兼部長

小児科

山口 清次

Yamaguchi Seiji



家庭と地域社会の中心にいる子ども達の健康を守り、地域が元気になるよう微力を尽くします。

副院長
兼部長

内科・総合診療科

上田 智広

Ueda Tomohiro



微力ながら地元であるこの地の地域医療に貢献して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

参与
兼部長

産婦人科

荘田 恭仁

Souda Yasuhito



邑南町暮らしも16年間になりました。女性の妊娠、出産、育児を支援していきます。更年期のつらい症状や月経異常も扱っています。お気軽に受診してください。

部長

整形外科

保坂 聖一

Hosaka Seiichi



今年で3年目になります。当地唯一の整形外科医として孤軍奮闘中です。外来混雑のため待ち時間が長くなります。また、手術についても待機期間が生じることがあります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

参与
兼部長

外科

野宗 義博

Noso Yoshihiro



当院外科担当6年目。今後も地域医療最前線で、限られた貴重な人材、医療資源をフルに活用して外科診療を提供します。皆様にトキメキと安らぎを提供します。

部長

泌尿器科

結城 康平

Yuki Kohei



邑智病院で勤務させていただき、1年が経過しました。静かな環境、美味しい食べ物、お酒を頂きながら、日々、診療を行っております。微力ながら、今後も邑智郡の泌尿器科医療の手助けになれば幸いですと考えています。

医長

歯科

佐々木 和起

Sasaki Kazuki



邑智病院に着任して2年目となりました。引き続き地域に根ざした歯科診療を通して皆様方の歯と口の健康を守りたいと思います。よろしくお願いいたします。

医長

麻酔科

上田 愛瑠萌

Ueda Meruma



あっという間に1年が経ち、邑智病院での勤務は2年目となりました。今年度も、患者さんが安心して手術を受けられるよう、丁寧な麻酔を心がけてきたいと思います。よろしくお願いいたします。

総合診療科

広戸 岳

Hirota Gaku



「病気だけでなく人を診る医療」を目指して、背景のある家族や地域にも目を向けた医療を心がけていきたいと考えています。困ったことがあれば何でもお申し付けください。

診療部

令和6年度も12名の
医師・歯科医師でスタート！

＼出雲から来ました！

総合診療科

NEW

米山 真里菜

Yoneyama Marina



4月から総合診療科で勤務することになりました米山真里菜と申します。微力ではありますが、患者さん一人一人に寄り添った医療を提供できるよう尽力いたします。皆様の健康をサポートできるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

部長 NEW

総合診療科

板持 卓弥

Itamochi Takuya



この度、診療部長を拝命し身が引き締まる思いです。昨年は、5人目の子どもも誕生し、仕事も家庭も一層刺激的に過ぎてしております。当地域の状況に適した医療を提供できるよう努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

NEW

薬剤部



病院の組織変更により薬剤科は薬剤部へ変わりました。医療の高度化に伴って医薬品は更にハイテク化しています。品質、有効性、安全性の高い純良な医薬品を患者の皆様きちんとお届けし、より良い薬剤サービスのご提供ができるよう努めます。

看護部



NEW 看護部長 日高 美晴

この春、看護部長を拝命しました日高美晴です。邑南病院のときに入職し、ここ数年は診療看護師として活動しています。

人生の大半をこの病院とともに歩んでまいりましたが、病院が新しく生まれ変わる記念すべき年に、看護部長という大役を担うことになりました。より一層気を引き締めて、地域の方々の安心、安全を守っていけるよう力をつくしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

NEW 外来看護師長
堂上 百合香

外来看護師長を拝命しました堂上百合香です。手術室や内視鏡を含め20年以上にわたり培った経験を活かし、患者さんご家族が安心して受診できる外来、スタッフがやりがいを感じて働ける環境づくりを目指して努力していきます。



NEW 回復期看護師長
渡利 敦子

回復期看護師長を拝命しました渡利敦子です。やさしさと笑顔を忘れず、患者さんに寄り添った看護に努めてきました。これまで培った知識と経験を活かして病棟のマネジメントを行い、より良い看護を提供できるよう全力を尽くします。



NEW 診療看護師長
大田 美穂子

4月に診療看護師長を拝命しました大田美穂子です。新人で入職したのがついこの前のような…。あれから数十年…地域の皆さんに成長させていただきました。診療看護師としてこれからも安心と笑顔を届けられるよう頑張ります！



今年度は、新人看護師6名を含む看護師11名と看護アシスタント1名を迎え、総勢78名でスタートすることになりました。地元に帰ってきた人、初めて邑智郡で生活する人、様々ですが、皆で力を合わせて頑張っています。

診療看護

診療看護師は、医師に近い医学的知識や医療行為を習得しています。簡単に言うと医師と看護師の間の存在です。看護師の視点を活かしながら、より良い医療が提供できるよう、病院内の専門職をつなぐ架け橋となるべく日々活動しています。(師長：大田美穂子)



外来看護

私たちは、明るく元気どころ和やかな職場づくりを心がけています。24時間体制で救急医療に携わり、また、外来受診という短い時間の中で患者さんやご家族に寄り添い、思いやりのある看護の提供に日々努めています。(師長：堂上百合香)



回復期看護

回復期病棟では、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるよう、リハビリテーション科や地域連携室と連携し退院を支援します。また「ときどき入院、ほぼ在宅」を目指しご家族の負担軽減のお力になります。(師長：渡利敦子)



急性期看護

急性期病棟は入院された方に対して、急性期治療と最良な看護を提供できるようにしています。多職種と連携し、患者さんが安心安楽で不安のない生活が送れるようにスタッフ全員で支援します。(師長：左田野由紀)



診療技術部

NEW



診療技術部長
左田野 恵三

この度、4月1日付けで診療技術部長を拝命いたしました左田野です。これまで築きあげてこられた先輩方に恥じないように部を統括し地域医療に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

NEW



画像診断科長
静間 有二

この度、画像診断科長を拝命いたしました静間です。今年度は本館棟建て替えに伴い、CTやMRIなどの機器が新しくなります。培った経験や知識を生かし新たな時代に入る画像診断科を牽引し、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。



診療技術部は多職種で構成され、総勢42名の組織です。チームワークと質の高い医療を重視し、安全で安心して診療を受けることができるよう、良質な医療を提供していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

歯 科

現体制で2年目となりました。培ったチームワークで引き続き口腔環境の改善・維持を通して地域の皆さんのお口の健康に貢献できるよう努めてまいります。その他、妊婦歯科検診などの検診や親知らずの抜歯、口腔粘膜疾患、口腔外傷、顎関節症などの口腔外科的な治療も行っていますので気になる方は気軽にご相談ください。
(医長：佐々木和起)



画像診断科

画像診断科ではエックス線、電磁波、超音波などを利用した様々な画像診断機器で体の中を調べる画像検査をしています。安全・安心な検査を行い、診断に有用な画像を提供できるよう頑張っていきます。
(科長：静間有二)



栄養管理科

栄養管理科は、4月から2名の調理員が加わり、管理栄養士、栄養士、調理師、調理員を含め計12名となりました。患者さんの療養のために普通食、治療食、嚥下調整食等のお食事を「心を込めて」作っています。美味しく食べていただけるよう日々努力しています。
(栄養管理係主任：今岡好美)
(栄養給食係主任：松崎いずみ)



臨床工学科

臨床工学科は医療機器管理係、内視鏡係の2係4人で構成されています。臨床工学技士は血液透析装置や人工呼吸器などの医療機器の管理や操作といった専門性を生かして、チーム医療の一員として活動しています。他部門との業務連携（タスクシェア）を推進しながら、安全な医療機器の操作と新たな技術の提案に力を入れています。
(主任：岡紀彦)



臨床検査科

臨床検査科は6名で業務を行っています。血液検査・尿検査などの検体検査や心電図・肺機能・脳波などの生理検査に加え採血業務も行っています。迅速かつ正確な検査結果を臨床側へ提供し、臨床検査を通じて地域の皆さんの健康に貢献できるよう努めてまいります。
(係長：天川秀一郎)



リハビリテーション科

この4月から新たに理学療法士2名と言語聴覚士1名を増員し、13名の体制となりました。今後とも入院・外来・訪問リハビリを行い、地域のニーズに対応できるよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。
(科長：山田寛之)



事務部



今年度は1名の新規職員が入職しました。「事務職員の業務が病院経営に大きなインパクトを与える」と言われるように、質の高い医療と健全経営に責任ある行動をとるべく、総勢28名の事務職員を3課に配属し業務を行っております。



副院長兼
事務部長

日高 武英

秋に予定している新本館棟竣工・診療開始にあたっては、病院引っ越しなど普段経験することのない一大イベントが予定されていますから、一世一代の気持ちで臨みたいと士気が高揚しております。(副院長兼事務部長：日高武英)

企画調整課

当課は、病院が活性化する企画と院内外業務の調整を行う部署です。私たちは副院長（事務系）直轄で迅速かつ的確な対応が求められる部署でもあり、院長・副院長秘書も所管しやりがいもあります。



また、危機管理を担う部門でもありますので、災害等の有事があれば関係機関の皆様方と協力して対応いたします。

今年度からは電子カルテを中心としたシステム業務も所管しました。病院建て替えに向け更なるデジタル化を目指します。

(係長：日野千晶)

総務管理課

総務管理課は、職員の福利厚生、衛生管理、給与処理等を担う総務係と施設管理、物品購入、業務委託等を担う管理系の総勢6人で構成され、診療現場が円滑に運営できるようにサポートを行っています。また、令和3年度からは病院建設担当課としても業務を継続しており、地域の皆様に愛され信頼される病院建て替えになりますように10月の新本館棟オープンを目指して活動しております。(課長：金山淳生)



地域連携室

医事経営課

医事経営課は3係あり、経営係、医事係は診療報酬解析や経営・収支分析を課内で共有し病院運営を支えます。診療補助スタッフは査定分析やがん登録などの勉強会を実施しレベルアップに努めています。また、病児保育室コスモスでは新たな保育士が加わり、子どもたちが心身ともに安心して過ごせるよう受入体制を整えています。



それぞれが専門性を活かし院内外から頼られる事務員となるよう努めてまいります。

(課長：土井祐子)



地域連携室は「傾聴・気遣い・介入・顔・言葉・謙虚」の6つの言葉を心に留めて、院内外との連携をスムーズに行っていきます。医療や福祉に関することでお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。(係長：天野久子)



今回のテーマ

「口腔粘膜疾患」



歯科医長
佐々木 和起
さ さ き かず き

再発性アフタ



アフタとは直径2〜10mm程度の浅い潰瘍のことで、表面は灰白色や黄白色の偽膜で覆われています。通常は約2週間で治りますが、治るまで

皆様方の中には口内炎がよくできる方はおられますか。私は寒くなるとうよく舌に口内炎ができて食事のときしみるので困っています。口の中の粘膜には口内炎だけでなく、様々な疾患があるので、紹介いたします。

の間に食事の際しみることや、ものがあたると痛むことがあります。このアフタが繰り返ししてできることを再発性アフタといい、皆様方が日常でよくできる口内炎です。原因は詳しくはわかっていませんが、ストレス、疲労、遺伝などが関与していると言われています。治療にはステロイドの軟膏やうがい薬、貼り薬があります。

扁平苔癬



再発性アフタ

扁平苔癬は皮膚や粘膜にできる角化性の病変です。粘膜がレース状に白くなるのが特徴で、頬粘膜によく認めますが、舌や歯茎にもできます。白い病変の周りの粘膜は赤くなっていることが多く、ひりひりとした痛みがあり、しみることもあります。痛みは治まることもありますが、疲労や体調が悪いときなどに痛みが再発することがあります。ごく稀にがん化する場合があります。原因は歯科用金属のアレルギーや自己免疫疾患、疲労、ストレスなどが考えられていますが、確かな原因はわかって

はいません。診断には生検を行います。病変にステロイド軟膏を塗布する対症療法が主な治療法ですが、難治性の病変であり、完全に病変がなくなることは難しいです。

白板症



扁平苔癬

白板症は舌・頬・歯肉などの粘膜が白色化する病変です。白色病変はぬぐってもとれません。痛みがないこともありますが、潰瘍を認める場合は痛みを伴うことが多いです。原因は飲酒・喫煙による口の粘膜への刺激や、入れ歯や不良補綴物（かぶせもの）による慢性的な刺激、加齢などが関係していると言われています。白い病変がかたくなるか、潰瘍などを認める場合はがん化することがあるので、切除が望ましい場合があります。また、長期間でがんになることもあるので、経過観察が必要です。



白板症

口腔がん

□の中のがん（口腔がん）は全てのがん患者さんの約1%の方に認められ、発症率は高くはありませんが、がんの場所や大きさによっては治療後のQOLに大きな影響を受けます。口腔がんの約40%は舌のがんで、この他、頬粘膜・歯茎・口底にもがんが発症します。がんの症状ですが、表面が白くなっているもの、こぶ状になっているもの、潰瘍になっているものなど多種多様の症状を認めます。がんの多くは見た目が汚く、周囲の正常な組織との境界が不明瞭で、さわるとしこりのようにかたいです。治療には手術・放射線治療・抗がん剤を症例に応じて選択し、治療を行います。がんの場所や大きさによっては治療後の食事や会話そして嚥下（飲み込み）に大きな影響を与えます。当科では歯の治療だけでなく、口腔粘膜疾患の診察も行っているため、気になった方はどんなささいなことでもいいので、遠慮なく、当科をご受診ください。



本館棟建て替え通 信

Vol.8 総務管理課

「本館棟建て替え事業」の進捗を、
担当の総務管理課職員がレポート
します。



3階の躯体が立ち上がりました！
3階の躯体が立ち上がり、新本館棟の全貌がもう少しで確認できるようになってきました。



新本館棟建設工事の住民説明会を開催しました！

3月22日に開催しました新本館棟1階内部の建設現場住民説明会には、総勢68人の参加がありました。エリアごとの説明を交えなが

ら実際の空間を体感されたことで完成イメージを想像していただけたと思います。参加された方の質問にもありましたが、内装には木材を使用して患者さんが安らぐ環境を整備するなど計画しておりますので、完成までもうしばらくお待ちください。



新しい本館棟の2階はこうなります。

本館棟建て替え後の2階部分（下図、平面図）は、急性期病棟フロアになります。病床数は現在と同じ57床ですが、個室を17室配置し、室内にトイレ等を完備した快適な療養環境になります。4床室には、ベッド間をカーテンではなく壁の間仕切りに変更して、よりプライバシーに配慮した空間になるように計画しております。

中央には全体を見渡せ、利用者も訪ねやすいオープンカウンターのスタッフステーションを配置し、隣接する薬剤室があることで服薬指導等の病棟薬剤業務が機能的に実施できるようになります。同フロアの多目的リハビリ室では病棟内で在宅復帰に向けてADLの維持・向上を図ることができ、効率的なリハビリを進めていきます。

食堂・談話室には吹き抜けを通して外からの自然光が差し込み、暖かく癒しの空間になるように設計しております。



キラリ看護部



Vol.9

認知症看護について



看護師
藤本 優志

こんにちは。認知症看護認定看護師の藤本優志です。今回は認知症看護認定看護師から急性期病棟でのエピソードをご紹介します。

まず認知症看護認定看護師についてご説明します。簡単に言うと、認知症に詳しい看護師です。そして、急性期病棟での私の役割は、認知症の患者さんが入院されたときに、安心して病気の治療を受けることができるように、また、少しでも苦痛が和らぐようにお手伝いをする事です。病気により、身体的、あるいは精神的な苦痛を伴うことになりましたが、それだけではなく環境が変わったことで、

今、ご自分がどこで何をしているのかわからない状況になることが多くみられます。そういった際に、混乱せずに安心して病気の治療を受けることができるように環境を整えたり、お薬の提案をしたりいろいろと工夫をしてお手伝いをしています。

実際にどのようなことをしているのかをお話します。ある日、認



患者さんのベッドサイドにて



知症のAさんが肺炎で入院してこられました。熱もあり、呼吸状態が悪く酸素マスクや点滴もしていました。入院後にAさんは、「家に帰らせてください。」「子どもが待っています。」「と息を切らしながら、何度も看護師にお願いをされました。酸素マスクの意味も理解できず、続けて酸素を吸ってもらうことができませんでした。きつと、身体がしんどいの、知らない場所

で知らない顔ばかり。その上、注射や採血、痛いことも続きました。混乱されるのは当然です。看護師が、肺炎で入院していること、家族の方に連絡していることを何度説明しても同じ話を繰り返されて理解してもらったことができませんでした。何かできないかなといういろいろ考えました。そして、Aさんが見える所に「肺炎で入院して治療中です。家族の方には連絡しています。」と書いた紙を貼り説明しました。Aさんはその紙を見て安心したようで「そっなんですか。入院しているんですか。」とおっしゃり、穏やかな表情になりました。

た。私のメッセージが目に入るようになり、それからは、お薬を飲んで、呼吸が楽になるように酸素を吸ってもらうこともできるようになりました。今はお元氣になられて、ご自宅で大好きなご家族と一緒に過ごされています。

今後はますます高齢者が増えてきます、それに伴って認知症の患者さんも増えていきます。これから入院生活を送ることができるようにお手伝いしていきたいと思



認知症看護認定看護師2名が勤務しています。





北海道 公立芽室病院 × 公立邑智病院

友好病院提携協定書を締結

「部門別原価管理会計手法」を相互に導入している自治体病院として友好関係を築きつつ、質の高い医療環境を確保するとともに患者さんに適切な医療を提供し持続可能な地域医療を展開することを目的として友好病院提携協定書を3月16日に締結しました。

当地域では、新本館棟竣工記念式典においてお披露目したいと考えております。

今回は、公立芽室病院の紹介をお届けします！



病院長 研谷 智 (2020年4月1日就任)



公立芽室病院

設置者 芽室町

経営形態 地方公営企業法一部適用

病床数 一般病床 120床(稼働病床 107床)

◎一般病棟入院基本料(2・3階) 1病棟45床(10対1)

◎地域包括ケア病床(2・3階) 15床

◎一般病棟障がい者施設等入院基本料(4階) 1病棟47床(10対1)

診療科目 7科(下線は非常勤医師の診療科)

内科(総合診療科)/整形外科/小児科/

眼科/耳鼻咽喉科/

リハビリテーション科/人工透析

常勤医師数 10人



公立芽室病院は1940年1月、村立芽室診療所として開設、1954年4月に町立芽室病院に改称、1955年月に国民健康保険直診施設となり、1989年から3年かけて管理棟、病棟とも全面改築しました。2000年から2年かけて増改築し2002年4月に公立芽室病院に改称しました。

芽室町の属する十勝地区の医療圏は、二次医療圏、三次医療圏ともに「十勝医療圏」を構成しています。二次医療圏と三次医療圏が同一であり、全国唯一の体制となっています。

当院は、入院施設を持つ町内唯一の医療機関として地域医療を担い、通常の外来・入院診療のほか診療健康診断、特定健診、予防接種等の公衆衛生活動、在宅患者への訪問診療の実施など、医療・介護・保健・福祉を継続的・一体的に提供する地域包括ケアシステムの医療拠点として、地域住民のくらしを守る活動を行っています。

当院は、外来診療は総合診療科(2020年4月開設)、小児科、外科(2020年3月休診)、整形外科、産婦人科(2019年3月末廃止)眼科、耳鼻咽喉科、歯科(2018年3月末廃止)の外来診療を行ってきました。対象となる診療圏は、芽室町全域と周辺の清水町、新得町、鹿追町、帯広市の西部地区などです。診療科ごとにとみると、総合診療科、整形外科の外来患者数は町内在住者の割合が高く、2019年3月末の産婦人科の廃止以降は、新生児をはじめとする小児科患者数が減少し、受診行動に変化が生じています。2021年3月末に外科を休診、現在の外来診療科は総合診療科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科の5診療科体制となっています。

公立芽室病院 — 最近の動き

公立芽室病院の経営理念は、「できることから始めよう。」であり、続いて「地域医療の砦として、町民の皆様の健康・医療・介護・在宅を支える役割を果たし続ける病院となる。」としています。

基本方針は以下のとおりです。

- 1 患者様の尊厳を重んじ、患者さまとご家族に寄り添った医療を実践します。
- 2 当院の治療・診療を必要とする患者さまを一人でも多く迎え入れ、退院後の在宅での療養生活を支えます。
- 3 医療の質の向上を目指します。
- 4 職員同士がリスペクトし合います。
- 5 全職員が“ちょっとちょっと”頑張ります。

2023年3月に策定した公立芽室病院経営強化プランでは、次の重点項目を掲げています。

- (1) 地域医療構想を踏まえ、専門性の高い高度医療は大規模病院に協力を願い、当院では一般急性期～回復期～慢性期の病棟機能に対応し、さらに退院支援、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅医療にも対応する。新興感染症に対応できる体制、機能も有する。
- (2) 地域包括ケアシステムの医療における中核施設として「かかりつけ医」の機能を充実する。地域包括ケア病床の拡充、他医療機関や介護老人福祉施設等との連携、在宅医療の推進および医療、介護、保健、福祉等の連携を促進する。
- (3) 地域住民及び利用者に、これからの当院の役割・機能について理解してもらう取組と活動を推進する。医師、看護師等の医療職の確保、経営形態等の改革を進める。

当院は、これらの方向性に則って経営改革を進め、経営理念の実現に向けて努力します。

①自律経営プロジェクト

令和5年度から、JAL再生で有名なアメーバ経営を医療経営に応用した「部門別原価管理会計システム」を導入し、自律経営プロジェクトとして全職員が経営に参画しています。ボトムアップ方式によって組織の活性化・経営改善を図り、準備段階から公立邑智病院（島根県）の支援を受けながら推進しています。

②病院まつり

2019年に第1回開催し、1300人の来場者でにぎわい大盛況でした。その後はコロナ禍で中止。2023年10月、4年ぶりに復活開催しました。

③リハビリ・マネジメント体制・病棟ワンチーム体制強化

2023年から院内全体のリハビリテーションの強化をコンサルタント委託により進めています。セラピスト、看護師、管理栄養士が協力しあい病棟ワンチーム体制を強化中です。

④訪問診療・訪問看護

2021年に総合診療科を設置し、訪問診療を積極的に進め、2022年7月に院内に訪問看護ステーションを開設、訪問リハビリも実施し地域包括ケアシステムを進め、訪問検査も始動しています。

⑤セル看護提供方式®

2023年3月から試行。「看護師ができる限り患者様のそばにいる」という看護提供方式の導入を進めています。

⑥できることから始めようプロジェクト

2022年2月から実施し、職員が事業を定め、募集し活動しています。14ワーキング、約90名が1年間活動を続けました。2023年はクラウドファンディングWGが成果を挙げました

⑦公立芽室病院をみんなで支える会

約200人で構成される強力な応援団です。新入職員歓迎会、環境整備、地域医療フォーラムなどを実施・開催しています。

当院は、「できるだけ多くの町民の皆様を選んでいただける病院になる」ことへの使命感を持って経営改革に努めています。経営理念・基本方針をもとに、各プラン・プロジェクト・事業計画などを進め、職員全員参加により、地域医療をめぐる難局を乗り切り、迫る少子高齢化時代に向き合います。



悠山亭日記

その5

「人生会議?…はて」の巻



名誉院長

石原

晋

先日、町内の高齢者の集まりでお話する機会があり、次のような質問をしてみました。「表に示したのは日本人の死亡原因です。悪性新生物とはがんのことです。さて、我々もいつか必ず死ぬ運命にあるわけですが、どの原因で死ねればいいと思われませんか?」。すると案の定、8割以上の方の回答が「老衰」でした。「老衰」とは大病を患うことなく次第に衰弱し、穏やかに最期を迎える…というようなイメージをお持ちなのでしょう。

日本人の死亡原因の構成割合（2022年、厚労省）

1位：悪性新生物（24.6%）
2位：心疾患（14.8%）
3位：老衰（11.4%）
4位：脳血管疾患（6.8%）
5位：肺炎（4.7%）
6位：誤嚥性肺炎（3.6%）
7位：不慮の事故（2.8%）
8位：腎不全（2.0%）
9位：アルツハイマー病（1.6%）
9位：血管性及び詳細不明の認知症（1.6%）
その他（26.1%）

しかし実際はどうか。老衰死とは心身の機能が死ぬほど衰えた末に亡くなることです。最期は結構悲惨です。表情は失われ、話すことも身動きもできず寝たきりとなり、自分で食べることも飲み込むこともままならず、大小便は失禁…というような状態で何か月も、あるいは何年も、ただ最後の時を待つというのが多くの老衰死の現実です。もちろんその他の原因で亡くなる場合でも、老衰死と同じような経過をたどるケースも少なくないですが…。

いずれの原因で亡くなるにせよ、このような最期になる可能性は誰にでもあると覚悟しておかねばなりません。さらに、こうなっては意思表示ができませんから、自分の人生の最終章をどうあらしめたいのか、あらかじめ判断力があるうちに思いを整理しておかなければ間に合いません。やがて、介助しても全く食べられないという状態になれば、通常1週間程度で亡くなります。こうなればもはや医学・医療の出番はないはずです。

ところが、そういう段階に至っても、呼吸が弱くなれば人工呼吸器につないだり、飲み込めなくなれば手

術で胃に管を挿入し栄養補給（胃ろう）を、などといういわゆる「延命措置」を行えば、そのあと何日もあるいは何か月も、場合によっては1年以上も命を引き延ばすことができます。ただし、回復が期待できるわけではないのでこれらの処置は「治療」ではなく「措置」といわれます。眠ったまま、無言、無反応、失禁という状態はそのまま続くのです。最終段階でこういう延命措置を望むか望まないかは個人の自由ですが、いずれにせよ意思表示ができなくなってからでは自分で方針を選択することとはかきません。家族とて判断を求められても、あらかじめ本人と話し合っていないければとまどうばかりでしょう。

そこで元氣なうちから、折に触れて「自分の死」と向き合い、人生の最期をどのように締めくくりたいのか、家族やかかりつけ医や介護担当者などともよく相談し、思いを明らかにしておく、そしてその内容を記録しておくことが大切だと思います。

このように人生の最終段階に先立って（advance）、受けたいケア（care）のありかた（plan）を整理しておくことをACPといい、厚労

省はこれを「人生会議」と訳し（変ですけど…）その普及啓発に努めています。邑南町でも今年度から、ACPについての出前講座、あなたのACPを記録するための冊子「あんしんノート（邑南町版終活支援ノート）」の配布などが計画されています。ACPは人生の最期にあたり、あなたを愛する人たちがうるたえることがないよう、そして何よりも自分自身にとって不本意なことにならないようにするために、重要な考え方だと思います。

私も不本意な最期にならぬよう、坐禅や読経をとおして日々「生死（しじょうじ）」のことに親しみ、その時節がくればじたばたすることなく肅々と彼岸に赴きたいものだと思うこの頃です。



良寛禅師

リハビリ通信

五十肩（肩関節周囲炎） 予防体操



リハビリテーション科
作業療法士

小笠原 明奈

「あつ！肩が痛い!!肩が動かしづらくなった…四十肩?五十肩?かも」と、経験がある方もいるかもしれません。五十肩（肩関節周囲炎）とは、肩関節周囲の組織に炎症が起きることが主な原因と考えられています。五十肩は長期にわたって痛みが続くことが多く、痛みで動かさないことで肩関節の拘縮を生じ、痛みがなくなつた後にも拘縮が残ることがあり、日常生活が不自由になることがあるので予防や早期に運動をしていくことが大切になります。今回は自宅できる運動をご紹介します。



肩甲骨のストレッチ

肘を曲げた姿勢で、肩の付け根から大きくぐるぐると回します。（時計、反時計周り10回）

【ポイント】
背中が曲げたり反ったりしないように注意しましょう！



うちわ運動

椅子に座り、脇をしめて肘を90°に曲げます。腕が体から離れないように腕を左右に動かします。（20回）

【ポイント】
手首だけで動かさず、肩甲骨を意識します。

注意点

- ・体操は息を止めないように、呼吸をしながら行いましょう。
- ・痛みを確認しながら、無理をしない範囲で行いましょう。
- ・痛みが強い場合は中止しましょう（無理して体操するとかえって悪化することがあります）。痛みが強い場合は整形外科での受診をお勧めします。
- ・ご自身にあったペースで、体操していきましょう。

連携

Vol.22

～ケアマネジャー編～

「やすらぎの里別府居宅介護 支援事業所」

管理者 南家 祐介

「地域・病院との良い関係」
社会福祉法人敬愛福祉会の法人理念、「みんなちがってみんないい環境づくり」のもと美郷町で事業を行っています。そのうちのひとつがやすらぎの里別府居宅介護支援事業所です。担当する利用者様が地域で暮らしつづけられるよう、ご自宅に訪問し日々の相談業務や介護サービス調整を行っています。また、住みやすい地域を創造すべく地域住民や団体との交流、併設するデイサービスの施設開放も積極的に行っています。

各職種からの説明がしっかりとなされることで安心して退院ができるのではないのでしょうか。今後もそれを継続して、みんないい環境づくりを共に目指していけたらと思います。

邑智病院との関わりですが、利用者様の入院がある際は、必ず連携室と入退院時の情報連携を行います。また、退院前には医師・看護師・療法士・相談員の方が揃われ利用者様を含め



令和6年度

第1回目の健康講演会&ノルディックウォーキングイベントを開催しました



4月12日に健康講演会&ノルディックウォーキングイベントを開催しました。公立邑智病院石原晋名誉院長を講師に「寝たきりになるまあでな」をテーマにフレイル予防等のお話をいただきました。総勢50名の方に参加いただきました。そのあとには約5kmのノルディックウォーキングを行いました。

看護師白衣 NEW デザインに



多様性の時代に即した白衣にしたい!! という思いや看護大学の先生方のご意見も参考にし、看護師白衣の色を選ぶようにしました!

決定するにあたっては、白衣検討プロジェクトチームを立ち上げ、若手看護師5名で色や質感、着心地など検討し、決定しました☆

まずは新規職員から着用していますが、新本館棟オープンに向け更新して行きます。



白衣検討プロジェクトチームの様子

職員随時募集中

「邑智病院で働いてみたい!」という方!!

見学や相談も可能です!! 詳しくは邑智病院企画調整課までお問い合わせください!!



採用試験を含む病院の情報をホームページに掲載していますのでご覧ください。facebook・instagramでも積極的に情報の発信を行っていますのでフォローをお願いします。

お問い合わせ先

邑智郡公立病院組合 公立邑智病院
TEL 0855-95-2111 FAX 0855-95-2727
〒696-0193 島根県邑智郡邑南町中野3848-2

ホームページアドレス
<https://www.ohchihospital.jp>

邑智病院 検索

病院基本方針

- ① 患者さんを家族と思い、良質で親身な医療を提供します。
- ② 職員同士がお互いのやりがいと誇りを尊重しあう、暖かい職場をつくれます。
- ③ 明るく清潔で快適な療養環境の維持向上に努めます。
- ④ 地域に信頼されるよう、健全な経営に努めます。



Facebook



Instagram



ホームページへ